

eitoeiko より「桜を見る会」のご案内です

桜を見る会

一色ちか子、岡本光博、木村了子、坂本佳子、嶋田美子、中島りか、和田高広

2022.4.9-4.30

「桜を見る会」は、令和四年の本展が eitoeiko での三度目の開催となります。もとは皇室主催の国際親善のための観桜会が、巡り巡って新宿御苑の八重桜を楽しむフリをした安倍晋三内閣の汚職の温床となり、バレたところで終了。楽しんだ芸能人やスポーツ関係者に交じって、売れっ子日本画家とか文化庁長官とかもいたんでしょうか。招かれた業界人は率先して政権与党にすり寄っていたのか、ダシにされただけのかはわかりませんが、その後始末を自主的に引き受けて始めた文化の観桜会が本展になります。

これまで様々な作家にご参加いただいた本展は、自虐史観ではグループ展とも大喜利スタイルともバトルロイヤルとも呼称され得る形態を以て是としておりますが、アーティストのモチーフに対する接近と解釈、接触と展開、調理法と仕上げには目を瞠るものがあります。単なるクエスチョン&アンサーでは終わらない作家たちの自由演舞をご覧いただくために、企画者としてはサイズ以外にはあまり制限を設けておりません。パフォーマンスはコロナ禍で実現が難しいのでご遠慮いただき、作品としては物質的なものをお願いしています。強いてあげますと、表現技法がなるべく異なる方向になればと考えております。

アート東京が取り下げってしまったので、今年は同時開催で琴鬱三の『トレジャー★パクトリー』展があっても良かったですね。しかしウクライナ侵攻の最中に冗談じみたことばかり言っていられないのが世界を繋ぐアートの使命だと思います。「サクラ」を見るというだけで不敵な展覧会であると見なされる本展ですが、不要不急の外出を避け、不撓不屈の精神を持ってご鑑賞いただけましたら幸いです。

eitoeiko ディレクター
癸生川 栄

出展作家:

一色ちか子

1945年東京生まれ。東京藝術大学卒業。ポルフスブルグ市美術館(西独)にて研修。近年の参加展に一色ちか子×嶋剛(双ギャラリー 2021)、嶋剛 一色ちか子ー 50年の歩みー(ガレリア・グラフィカ 2019)他。

岡本光博

1968年京都生まれ。滋賀大学大学院修了。近年の参加展に CART SAITAMA 2022、水族館劇場の向こうがわ(eioeiko 2021)、オキナワ・ステーキ(個展 eitoeiko 2021)、表現の不自由展かんさい(2021)他。

木村了子

1971年京都生まれ。東京藝術大学大学院修了。近年の参加展に日本画のゆくえ(栃木県立美術館 2022)、フェミニズムズ(金沢 21世紀美術館 2021)、美男におわす(島根県立石見美術館、埼玉県立近代美術館 2021)他。

坂本佳子

1968年大阪生まれ。多摩美術大学大学院修了。近年の参加展に文化庁新進芸術家海外研修制度 50周年記念展(日本橋高島屋 2017)、YANGON(個展 ワダファインアーツ 2015)、Gateway Japan(トーランス市美術館 2011)他。

嶋田美子

1959年東京生まれ。キングストン大学博士号(美術史)。近年の参加展に Flame(オオタファインアーツ 2022)、表現の不自由展かんさい(2021)、オンラインプロジェクト、ラディカル・スピリチュアリズム国際会議を開催(2021)他。

中島りか

1995年愛知生まれ。ロンドン大学チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ卒業。東京藝術大学大学院在籍。近年の参加展に I tower over my dead body(個展 TOH 2021)、Bodies On The Matter(TOMO 都市美術館 2021)、都市のみる夢(東京都美術館 2020)他。

和田高広

1963年東京生まれ。ライトアンドプレイス湿板写真館主宰。近年の参加展にめがねと旅する美術展(静岡県立美術館、島根県立美術館石見、青森県立美術館 2018)、写された明治時代—エンバーソンのガラス乾板と絵はがき—(フェルケール博物館 2016)他。

協力:

オオタファインアーツ

ワダファインアーツ

eitoeiko

東京都新宿区矢来町 32-2

03-6873-3830

www.eitoeiko.com

開廊 12時より19時 日月休廊(※4/29 祝日は開廊いたしません)

お問い合わせ ei@eitoeiko.com